

### 第3学年 社会科 学習指導案

#### 1. 小単元名『店で働く人と仕事』

(教科書：『小学社会3・4上』p.50～69／学習指導要領：内容(2)ア,イ)

#### 2. 小単元の目標

- 自分たちの住んでいる地域では、人々が工夫をしながら販売に関する仕事をしており、日々の自分たちの生活を支えていることがわかる。
- 身近な地域の販売活動の実際について、観察・調査したり、表現したりすることを通して、仕事の特色や他地域とのかかわり、仕事に携わる人々の工夫、及び消費者の願いを具体的に考えることができる。

#### 3. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
地域の人々の販売の様子に関心をもち、意欲的に調査するとともに、これらの仕事と自分たちの生活とのかかわりを考えようとしている。	地域の人々の販売の様子から学習課題を見つけ、みんなで話し合う中で解決しながら、地域の販売にみられる仕事の特色や自分たちとのかかわりについて考え、適切に判断し、表現することができる。	地域の人々の販売の様子を観点に基づいて見学したり、資料を活用したりして、販売の仕事の様子について必要な情報を集めて読み取り、図や絵、作品などにまとめている。	地域には販売に関する仕事があり、自分たちの生活を支えていることや販売に携わっている人々の工夫や消費者の願いについて理解している。

#### 4. 指導にあたって

##### (1) 児童の実態

事前アンケートによると、本学級の9割近くの子どもがスーパーマーケットでの買い物経験をもっていた。また、そのうちの多くが「スーパーマーケットはきれいで大きくて、品物の種類が多くて、買い物しやすい。」という認識をもっている。一方、地域の個人商店に関しては、「お店が小さい、品物が古そう、お客が少なそう。」「あまり知らない。見たことがない。」といった、誤解も含んだ認識が多数を占めている。さらに、8割近くが買い物に行く手段として自動車を利用していることがわかり、買い物の不便さを感じていない。子ども家族構成としては、学級の9割近くが核家族である。

##### (2) 教材について

本小単元では、異なる特色をもつ「スーパーマーケット」と「地域の個人商店」を題材に学習を進めていく。二つの商店を比較しながら、商品を売るための工夫や集客のための工夫、働く人の姿

を通してみえる人間の生き方などを多面的に考えさせたい。特に後半の、地域の個人商店に関する学習では、次のようなことを学ぶ機会としたい。

近年、安易な価格競争やモータリゼーションの流れによって郊外や交通量の多い場所に出店をする大型ショッピングセンターや大手スーパーマーケットが増えた。そのため、車で買い物に行けない消費者（特に高齢者）にとっては大きな社会問題となってきている。その中で、高齢者や車が使えない消費者の食生活を支えたり、レジ台を挟んでの人と人との交流（コミュニケーション）の場として役割を担ったりしている地域の個人商店の役割を見直す機会とする。また、大手コンビニエンスストアが、「暮らしを支えるライフライン」と掲げて宅配サービスの取り組みを始めていることにもつながる。

このように高齢化が進む現代社会において、地域の個人商店を扱うことが、これからの未来の商店のあり方を考えるうえでも大切な視点となりうると考える。また、二つの商店を対比させながら課題を追究することで「他者の立場に立って物事を考えることができる力」の育成につなげたい。

### (3) 指導上の工夫・留意点

指導を行ううえで、①多様な「社会的な見方や考え方」の育成、②探究的な学習の工夫、③評価活動の工夫、といった3点を指導上の工夫・留意点として設定する。

#### ①多様な「社会的な見方や考え方」の育成

買い物に行く回数が最も多かったスーパーマーケットの工夫を習得させる。子どもたちは、そのスーパーマーケットの工夫が全ての店に共通する工夫と認識するであろう。ところが、スーパーマーケットの工夫（店の広さ、駐車場、品物の数・種類など）には当てはまらない地域の個人商店（八百屋さん）に、お客さんが予想以上にたくさん来るという事実に出会わせることによって、探究心をかき立てる。そして、その原因を探究していく中で、地域の商業施設の歴史的变化や地域の商店がもっている価値、これからの消費生活が抱える課題などに出会わせて、多様な見方・考え方を育成することをねらう。

#### ②探究的な学習の工夫

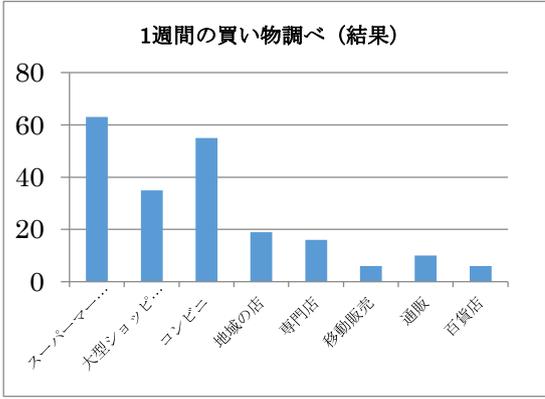
スーパーマーケット見学に行く前に「なぜ、スーパーマーケットにはたくさんのお客さんが来るのだろうか」という課題を、また地域の個人商店に予想以上にお客さんが来ている事実から「地域の店には誰が来ているのだろうか」「なぜ、スーパーマーケットとは異なる点が多い地域の店にたくさんお客さんが来るのだろうか」という課題を設定する。そして、これまでの知識や経験から仮説を立て、資料や聞き取りなどをもとに検証を行っていく。その結果、商店の形態による役割や工夫、努力の違いを明らかにすることで、新たな見方や考え方を形成していくことをねらう。

#### ③評価活動の工夫

学習課題についての考えやその理由の吟味・検証場面を設定することで、社会的な見方や考え方が変容したり、友達と吟味・検討したりする面白さを実感できるようにする。そのような体験を積みこむことで、自分自身が思考・判断・表現した結果を批判的・客観的に見つめ、安易に一つの偏った考えに流されない子どもの育成につながると考える。そのような学習においては、プレテスト・ポストテストや、学習シート、ノートなどを使って、子どもたちの認識の変容を記録しておくことが大切となってくる。また、子どもたちが自らすすんで考え、表現する態度を大切に、認めていくような

発言を意識的に行っていく。

5. 小単元の指導計画（総時数 10 時間）

時	ねらい	○学習活動 ・内容	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
① （つかむ①）	日常生活の中でどのような店で買い物をしているか買い物調べを1週間行うことで、店や買い物について調べようとする意欲をもつ。	○店の写真を見て、様々な形態の店があることに気づき、興味・関心をもつ。 ・スーパーマーケット ・コンビニエンスストア ・移動販売 ・大型ショッピングセンター ほか ○家の人が、どんな店で買い物をしているかを予想する。 ・たぶん、スーパーマーケットだと思う。 ・コンビニではないかな。 ○買い物調べの方法を確認する。 ・1週間調べてみる。 ・どこで何を買ったのかをメモする。	◎いろいろな店の写真（スーパーマーケット、コンビニ、地域の個人商店、移動販売など） ◎買い物調べシート ◇買い物調べの方法をしっかりと説明する。また、学級通信などを使い保護者に対しても協力を依頼する。 ◆どこで買い物をしているかについて、関心をもって調べようとしている。 (関・意・態/発言)
② （つかむ①）	調べた結果をもとにスーパーマーケットにお客さんがたくさん来る理由を考える。	○買い物調べグラフをもとに気がついたことを発表する。 ・スーパーマーケットが多い。 ・コンビニが2位だ。  〈1週間の買い物調べ〉 ○なぜ、スーパーマーケットに買い物に行く回数が多いのか、理由を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">なぜ、スーパーマーケットで買い物をする人が多いのだろうか。</div> ・おいしいものがたくさんあるからでは。 ・安いからじゃないかな。(予想)	◎買い物調べグラフ（1週間買い物調べを行い、それをまとめたグラフ）  ◆グラフを見て、気づいたことを発表することができる。 (技/発言)  ◆これまでの生活経験から、スーパーマーケットにお客さんが来る理由を考えることができる。 (思・判・表/発言・ノート)

③ (調べる)	予想したことを検証するためスーパーマーケットを見学する。	<p>○店を見学しながら、お客さんをたくさん集める工夫を探す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やっぱりおいしそうなものばかり置いてある。</li> <li>・値段は、コンビニより安いよ。</li> <li>・お店の人に聞いたけど、新鮮な肉や魚を出すようにしているそうだよ。</li> <li>・品物の種類が多い。</li> <li>・たくさん品物を買っても大丈夫のように車輪がついているかごがあり、駐車場まで持っていけるよ。</li> </ul> <p>〈価格、品物の種類・数の豊富さ、新鮮さ、駐車場の広さ、棚の工夫、掲示、レジの工夫など〉</p>	<p>◇スーパーマーケットを見学するにあたって、店の方やお客さんに迷惑がかからないように指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品に触らない、走り回らない、など</li> <li>・店の方やお客さんにインタビューをする場合は、相手の都合をたずねる。また、メモをとる。</li> </ul> <p>◆予想したことを確かめたり、新たな理由を発見したりすることができる。</p> <p>(関・意・態／観察・メモ)</p>
④ (調べる)	スーパーマーケットを見学してわかった工夫を発表して情報を共有する。(1)	<p>○スーパーマーケットの工夫・努力を発表し、確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どこに何があるか、看板が下げてある。</li> <li>・種類が豊富である。</li> <li>・値段が安い。タイムセールがある。</li> <li>・商品が悪くならないように温度調節をしている。</li> <li>・すぐ食べられるように調理してある。</li> <li>・広い駐車場がある。</li> <li>・たくさん荷物を運べるように車輪がついたかご(カート)が置いてある。</li> <li>・チラシを用意して宣伝している。など</li> </ul>	<p>◎スーパーマーケットの工夫をまとめた写真(商品の看板、チラシ、レジ、駐車場、カート、冷蔵施設、バックヤードなど)</p> <p>◆スーパーマーケットの工夫について理解することができる。</p> <p>(知・理／発言・ノート)</p>
⑤ (調べる)	スーパーマーケットを見学してわかった工夫を発表して情報を共有する。(2)	<p>○スーパーマーケットの商品は、様々な産地のものが集まっていることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このチーズは、北海道産だよ。</li> <li>・この魚は、長崎県産だ。</li> <li>・このバナナは、フィリピンのもんだ。</li> </ul> <p>・スーパーマーケットには、日本だけではなく、世界中から商品が集まってくるのがわかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だから商品の種類が多いんだ。</li> </ul>	<p>◎商品の袋、パック(産地が書いてあるもの：写真でも可)</p> <p>◎日本地図と世界地図</p> <p>◆スーパーマーケットの商品は、様々な場所から集められていることを理解している。</p> <p>(知・理／発言・ノート)</p>

<p>⑥ つかむ②</p>	<p>地域の個人商店（八百屋さん）の写真を見せて、スーパーマーケットと比較する。</p>	<p>○個人商店とスーパーを比較する。 〈比較のポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店の広さ ・品物の種類, 数</li> <li>・駐車場 ・広告, チラシ ・レジ</li> <li>・品質管理の仕方 ほか</li> </ul> <p>○個人商店のお客さんの数を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さんの数は少ないと思う。 →1日に100人と意外に数が多い。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なぜ、お客さんが多いのか。誰が買いに行くのか。</p> </div>	<p>◎地域にある小さな八百屋さんの写真</p> <p>◆スーパーマーケットとは異なる形態の個人商店に、お客さんが予想以上に来る理由を考えることができる。 (思・判・表/発言・ノート)</p>
<p>⑦ 調べる</p>	<p>地域の個人商店（八百屋さん）を見学して調べる。</p>	<p>○比較のポイントをもとに地域の個人商店に関する秘密を探る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さんに注目：近所の人，高齢者，自動車を使わない人が多い。</li> </ul> <div style="border: 3px double black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物客の多くが高齢者であり，車を使えないので地域の店に買いに来る。</li> <li>・地域の人がほとんどである。</li> </ul> </div>	<p>◎地域にある小さな八百屋さんの写真</p> <p>◇買い物客に注目させる。車を使えない高齢者の方が多いことに気づかせる。</p> <p>◆地域の個人商店に買い物に来る理由を理解することができる。 (知・理/発言・ノート)</p>
<p>⑧ 調べる【本時】</p>	<p>校区における地域の個人商店の変化を見て、その原因を考える。</p>	<p>○地域の個人商店の移り変わりを地図上に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔（30年前）は，学校の周りや電車通りには，小さなお店（八百屋，肉屋，魚屋，米屋）がいっぱいあったんだ。</li> <li>・今は，マンションやコインパーキング，ビルになっているね。</li> </ul> <p>○変化の理由を考える。</p> <p>どうして地域の個人商店はなくなってしまったのだろう。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px;"> <p>大型ショッピングセンターやスーパーマーケットが増えているから。</p> </div> <p>（車で行ってたくさん買い物ができる。新鮮で安い。品数，種類が多い。など）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地域の個人商店が少なくなってしまうと困ることはないのか。</p> </div>	<p>◎現在と昔（30年前）の住宅地図</p> <p>◇住宅地図を使い，現在と30年前の商店の分布を比較する。</p> <p>◎スーパーマーケット店舗数の推移（矢作弘『大型店とまちづくり』岩波書店）</p> <p>◎コンビニの店舗数の推移（新雅史『商店街はなぜ減びるのか』光文社）</p> <p>◆地域の個人商店数の減少をスーパーマーケットの努力や工夫と関連づけて考えることができる。 (思・判・表/発表・ノート)</p>

<p>⑨ (まとめ)</p>	<p>地域の個人商店が少なくなると買い物についてどのような問題が起こってくるのかを考える。</p>	<p>○地域の個人商店が少なくなることで、問題はないかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が買い物できなくなる。</li> <li>・車を使えない人は、すごく困る。</li> <li>・重い荷物を持って電車やバスに乗らなければならない。</li> <li>・高齢者が歩いていくと危ない。転んでしまうかも。</li> <li>・店が広いと疲れてしまう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の個人商店は高齢者や車のない人にとっては大切な店である。会話もできて、なくてはならない店である。</li> <li>・これから高齢者が増えてくるのに地域の個人商店がなくなっていくと、買い物が大変になってくる。</li> </ul> </div>	<p>◎高齢者の数の推移（内閣府ウェブサイト資料）</p> <p>◎店までの距離（杉田聡『買物難民』大月書店）</p> <p>◆高齢社会において、地域の個人商店がなくなることとはどのような問題につながるのかを考えている。 (思・判・表／発言・ノート)</p>
<p>⑩ (深める)</p>	<p>これからの店や買い物のあり方考える。</p>	<p>○これから、店や買い物がどのようになればよいかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>高齢者も車がない人も買い物に困らないようにするためには、店や買い物の方法がどうなればいいのかを考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の個人商店を増やす。 →それは、難しい。スーパーマーケットやコンビニがあるから。</li> <li>・トラックでお年寄りの多い地域に行って販売すればいい。(移動販売)</li> <li>・通信販売で頼めばいいのではないかな。 →値段が高い。どんな品物か確かめられない。食品ならすぐ欲しいのに、時間がかかる。</li> <li>・スーパーやコンビニによる宅配</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>高齢者や車がない人のために買い物の方法を考えていかなければならない。</p> </div> <p>○学習のまとめをする。</p>	<p>◎スーパーやコンビニの宅配に関する記事、パンフレット</p> <p>◇3年生にしくみや制度を考えさせることは難しいので、「家族で考えよう」と家族の問題として取り扱う。</p> <p>◆これからの店や買い物の方法を自分なりに考えることができる。 (関・意・態／発言・ノート)</p>

## 6. 本時の指導（第8時）

### （1）本時のねらい

校区における地域の個人商店の変化を見て、個人商店が減少してきた事実とその原因を考えることができる。

### （2）本時の展開

時配	○学習活動 T：発問 C：児童の反応	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
15	<p>○前時までにはわかったことを班ごとに整理・確認する。</p> <p>T：30年前、地域の個人商店がどのくらいあったかを見てみます。地図を見て、気づいたことを発表してください。</p> <p>C：30年前は、学校前の電車通りには、店がたくさんありました。</p> <p>C：魚屋さん、肉屋さん、米屋さんなど、小さな店が並んでいたのがわかります。</p> <p>C：店がなくなってマンションになっています。</p>	<p>◎現在と30年前の、地域の個人商店の分布図</p> <p>◇二つの地図を比較することで、地域の個人商店が減少したことを視覚的に確認する。</p>
<p><b>なぜ、地域の個人商店は少なくなってしまったのだろう。</b></p>		
15	<p>○これまでの経験や資料などから課題の解決に取り組む。</p> <p>T：課題についての予想を各班で整理してみましょう。</p> <p>○各班の意見をさらに整理する。</p> <p>T：似た意見は一つにまとめましょう。では、発表してください。</p> <p>C：商品の値段が高かったので売れなくなったのでは。</p> <p>C：値段の安い店がたくさん出てきたので、なくなってしまったのではないかと思います。</p> <p>T：値段が安い店とは、どんなお店でしょうか。</p> <p>C：スーパーマーケットだと思います。</p> <p>T：スーパーマーケットにある商品の値段は安いのかな。</p> <p>C：安いです。同じお菓子でもコンビニより安い。</p> <p>T：資料で確かめてみましょう。（資料：値段を比較する） 確かに安いね。だからなくなってしまったのですね。</p> <p>C：スーパーマーケットがたくさんできたからではないか と思います。</p> <p>C：同じです。車で出かけるというんな所に○○スーパー、 △△スーパー、□□スーパーがあるので、これでは地域の 個人商店はなくなってしまうと思う。</p> <p>C：置いてある品物の数、種類が違う。スーパーマーケットは、 いろんな種類のものがたくさん置いてあるので、</p>	<p>◇少人数の班で意見交流することによって、自分の考えを整理させる。</p> <p>◎値段の比較表（同じ製品で値段を比較する。）</p> <p>◇スーパーの値段が安くなる理由は、学級の実態によって説明するかを判断する。</p> <p>◎写真：様々な種類の商品</p>

	<p>その店だけで買いたいものが全部そろろう。</p> <p>C：似ています。地域の店は、家から近いけど、一つの種類しか売っていないので、あちこち店を変えて買い物しなければなりません。(買いたいものが一度に買える)</p> <p>T：なるほど。確かに買い物は一度に済んでしまうね。スーパーマーケットが増えていると言ったけれど、確かめてみよう。(資料：スーパーマーケット店舗数の推移)</p> <p>C：やっぱり。すごく増えてきている。</p> <p>T：確かにその店だけで買い物できるけど、家に近いのだから、スーパーマーケットより便利ではないのかな。</p> <p>C：確かに近くなので便利だけど、買い物したら荷物になりますよね。私の家では、買い物には車で行くので、たくさん品物を買っても楽だと思います。逆に近所の店だと駐車場もないので、荷物を持ったまま歩かなきゃいけないので困ると思います。</p> <p>C：地域の店には車を停める場所が少ない。(駐車場、荷物を運ぶ問題)</p> <p>C：別意見です。スーパーマーケットには、買ってすぐ食べられるように料理されているものが多く、便利だからだと思います。</p> <p>C：しかも細かくパックに分けてあるので余らない。(総菜が充実。家族構成に合わせてパック詰め。)</p>	<p>◎スーパーマーケット店舗数の推移 (統計グラフ)</p> <p>◎写真：スーパーマーケットと地域の個人商店の駐車場</p> <p>◎学級のアンケート調査結果：33人中 30 人の家庭が車で買い物に行く。</p> <p>◎総菜の写真、パック (内容量の異なるもの) の写真</p> <p>◇写真などを提示することで、既知の知識と関連づける。</p>
15	<p>○地域の個人商店が減少した原因を整理し、今後どのような問題につながってくるのかを考える。</p> <p>T：なぜ、地域の商店は少なくなっているのでしょうか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>安くてたくさんの種類の商品があるスーパーマーケットの数が増えてきた。スーパーでは一度に買い物を済ませることができるので、お客さんがスーパーに集まった。その結果、地域の店がどんどん減っていった。</p> </div> <p>T：では、このように地域の個人商店が減っていくと、困る人は出てこないかな。</p> <p>C：困る人がいます。</p> <p>T：では、その問題については次の時間に考えましょう。</p>	<p>◆地域の個人商店数の減少をスーパーマーケットの努力や工夫と関連づけて考えることができる。</p> <p>(思・判・表／発表・ノート)</p> <p>◇次の時間の学習につなげられるように課題提示をする。</p>

## 7. 備考 (参考文献)

- 矢作弘『大型店とまちづくりー規制進むアメリカ，模索する日本ー』岩波書店 (2005)，pp.3
- 杉田聡『買物難民ーもう一つの高齢者問題ー』大月書店 (2008)，pp.28
- 新雅史『商店街はなぜ滅びるのかー社会・政治・経済史から探る再生の道ー』光文社 (2012)，pp.141